

学校関係者評価委員会よりの報告を受けて

日頃より本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校関係者評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回のアンケートでは、教職員用のアンケートを生徒用や保護者用、地域用と比較しやすいうように項目を整えました。集計結果と本校職員の自己評価を審議していただき、学校関係者評価委員の方々より「学校関係者評価委員会報告」を受けました。その報告書をもとに改善方法を検討し、以下の各項目を改善策として令和5年度の教育活動に反映させていくことをお知らせします。今後とも、学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

I 重点目標について

1 令和4年度の重点目標への取り組みと課題について

(1) 『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』

朝学習の時間に、コミュニケーションタイムや新聞学習等を教科日本語の狙いに即して実施し、適切に対話する能力と、多面的・論理的に物事を捉える能力を育てる取り組みをいたしました。その結果、生徒が授業中のグループ活動で活発な討議ができるようになってきました。生徒アンケートの「先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている。」の肯定回答率が90.8%と向上しました。また、教職員アンケートの「私は、考えたことを話し合ったり、発表しあったりする機会を設けている。」の肯定回答率は82%でした。生徒の先生の肯定感に約1割の開きがあることがうかがえますが、授業で考える時間をとることは概ねできていると考えます。

一方、生徒アンケート「私は、意欲的に学習に取り組み、よく考えようとしている。」の肯定回答率も向上し79.9%でした。さらに深い学びの実現するためには、生徒が意欲的に学習に取り組むことの実感を得られる工夫が必要であると考えます。「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。」の肯定回答率は86.6%と高かったので、ICTの活用を通して、対話的・協同的で学び合う授業をさらに充実させていきたいと思います。

(2) 『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる。』

生徒対象のアンケートの項目「学校生活は達成感がある。」の肯定回答率は77.8%（1年生83.5%、2年生70.2%、3年生79.6%）でした。また、「学校行事は達成感がある。」の肯定回答率は93.3%（1年生95.5%、2年生90.4%、3年生93.6%）と、どの学年も高い肯定率でした。3年生が日光林間学校（6年生）を実施できなかったことなど、昨年までは大きな制約がありました。今年度は「修学旅行（3年生）」や「鎌倉（2年生）」、「都内巡り（1年生）」など、校外での学習を実施できたことや、「小中クリーン作成」や各種ボランティア活動などが例年に近い形で実施でき、生徒が他者と仲良く関わりあう喜びを実感できた結果と思います。

教職員アンケートの「本校の学校生活は子どもにとって達成感がある。」の肯定回答率は82%、保護者の「本校の学校生活は子どもにとって達成感がある。」の肯定回答率は74.4%でした。また、教職員アンケートの「学校行事は、子どもにとって達成感がある。」の肯定回答率は100%、保護者の「学校行事は、子どもにとって達成感がある。」の肯定回答率は94.2%でした。教職員の肯定回答率が生徒や保護者に比べ高いので、私たち教職員の課題意識を向上させる必要があると考えております。特に、学校生活の達成感は、学年経営や学級経営が大きく関係します。一人一人の生徒がどのような思いでいるのかを常に意識し捉えながら、思いやりのあるあたたかな指導や助言を心掛け、教員と生徒、生徒同士が和やかに楽しく過ごせる教室環境を整えることが大切と考えます。生徒への言葉遣いをより丁寧に、諭す指導の徹底を図ります。感染症対策に配慮しながら、成長を実感できるような行事や交流活動を厳選して実施し、授業や帰りの会などで、お互いの良さを見つけ、認め合える活動を増やしていきます。

(3) 『自己の未来への希望と展望を持ち、社会の課題解決への意欲を育てる』

1年生で「職業調べ」、2年生で「職場体験」、3年生で「上級学校訪問」を実施し、3年間を見通し系統的に計画して、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要となる基礎的な能力を育みました。また、健全な勤労観・職業観を育てるとともに、キャリア・未来デザイン教育を推進して、「人間関係形成能力」、「課題解決能力」、「自己決定力」の育成に取り組みました。生徒アンケートの「自分の進路や将来の仕事について、考える授業がある。」の肯定回答率は87%、「学校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。」の肯定回答率は、78.2%と取組の成果が見られます。

保護者の皆様と連携して、三者面談でキャリア・パスポートを活用しました。生徒が自己の変容を客観的に捉えることができるための取組です。生徒アンケート「キャリア・パスポートの目標を考えて行動している。」の肯定回答率は、71.1%でした。保護者アンケート「本校は、キャリア・パスポートの目標について子どもに考えさせる指導をしている。」の肯定回答率は、61.6%で生徒と保護者の皆様との差が約10%でした。教職員アンケート「本校（私）は、キャリア・パスポートの目標について子どもに考えさせる指導をしている。」の肯定回答率は、100%でした。生徒や保護者の肯定回答率と大きくかけ離れており、今後も、キャリア・パスポートを活用の仕方をさらに工夫し、学校生活に関する積み重ねを意識させ、自分の未来に向けて努力できる生徒を育てたいと考えております。

2 令和5年度の本校の重点目標について

令和5年度の本校の重点目標は、教育目標に合わせて以下のように作成しました。教育目標の前文は、「人権尊重の教育を基調に、深い思考力・豊かな感受性・健やかな心身と自らを高めようとする志をもって、生涯にわたって幸せな人生を生きることができる生徒の育成を目指し、次の教育目標を定める。」です。その最も大切な「健康」に関することを新たに重点目標のひとつにあげました。★は教育課程の「学校の重点目標」より、☆は教育課程の「学校の教育目標及び重点目標を達成するための基本方針」より引用した文です。

(1) 教育目標 進んで学び、深く考える態度や習慣を育てる。

「学んでよく考える人になろう。」

重点目標 基礎的な知識や技能を習得させ、主体的に課題を解決する能力を育成する。

★計画的で持続的な学習習慣づくりと生徒自身による学び方の工夫を促し、主体的に学習に取り組む態度を育てます。

★各教科の授業等で、基礎的・基本的な内容の習得ための工夫と課題解決能力の育成の工夫を両立させます。

☆教育デジタルトランス・フォーメーションの推進を実現します。(世田谷区共通)

☆言語に関する能力の育成を重視し、思考力と表現力を高めます。

(2) 教育目標 人の喜びや悲しみを自分のものとすることのできる豊かな人間性を育てる。

「思いやりのある人になろう。」

重点目標 自律と自信を大切にし、コミュニケーション能力を育成する。

★あいさつ・時間・自治を、人間関係形成能力の3要素と捉え、実践力を高めます。

★特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）において、相互が認め合う活動を充実させ、協働の喜びと自己効力感を実感させます。

☆人権尊重の教育を基盤に多様な個性がいかされる教育の推進を図ります。(世田谷区共通)

☆時間を厳守する習慣をつけます。

☆自律した行動力を高め、他者とのかかわりを通じて自信を深めさせます。

(3) 教育目標 自らの目標や理想の実現に向かう健康な身体と忍耐強い心を育てる。

「丈夫なからだで粘り強い人になろう。」

重点目標 安全や心身の健康への意識の向上と教育相談の充実に努める。

★生徒が夢や希望、目標をもつことを大切にし、その実現のための道のりを考える機会を保障します。

★SDGsに関する学習や体験的活動を通じて、社会が直面している課題に気付かせ、自分ができることを考えさせる。

☆「キャリア・未来デザイン教育」の実現を図ります。(世田谷区共通)

☆心身の健康や安全に対する行動力を高めます。

II 家庭・地域との連携・協働による教育について

本校は地域との協働による教育が盛んです。青少年代沢地区委員会の皆様や青少年池尻委員会の皆様のご協力のもと実施される「古着回収」、「地域清掃」などの各種ボランティア活動や「あいさつ運動」で、地域愛や自己肯定感、責任感を養っております。

III 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進

学び舎の教職員の交流の「小中交流会」では、他校の授業を見学し合同の研究会を催して、9年間での児童・生徒の学びを系統的・継続的に行なうことを協働して行っています。学び舎の他校・園との交流による「小中クリーン作成」や「SDGs教育」など、生徒の活動も徐々に開始しています。

IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

「富士中は、地域から愛される学校として成長していると思う。」の地域の方の肯定回答率は、100%と今年度はさらに高い数値をいただきました。教員の肯定回答率は75%でしたが、生徒をよりよく育てたいという気持ちの表れと解釈します。「富士中生の一員として、より良い学校生活や人間関係を築こうとしている。」の肯定回答率は、生徒82%、保護者86%、教員92%でした。皆様に愛される富士中学校であり続けるよう誠意をもって対応していきたいと思います。

V 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

毎月の避難訓練や安全指導で緊急災害時の対応について生徒に学ばせております。安全な自転車の乗り方の講習を全校生徒向けに実施いたしましたが、生徒の安全への意識が高まったと感じております。富士中学校避難所運営訓練では、数年ぶりに一般的の地域の方も参加されました。今後も安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

VI 学校生活全般について

「学校生活は楽しい。」の肯定回答率は、生徒89.8%、保護者79.1%、教員92%、「学校行事は達成感がある。」の肯定回答率は、生徒93.3%、保護者94.2%、教員100%、地域アンケート「学校行事の内容は充実している。」の肯定回答率は100%でした。行事については概ね良い評価でしたが、学校生活全般については、一人一人の子どもに目を向け、その良さを伸ばし、生徒主体の学校教育・学校行事に取り組んでまいります。

VII 学校評価委員会の総合所見

「学校関係者評価委員会の報告」の中には、「生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。」という言葉は、まさにその通りだと思います。教職員が学校、クラスでの生徒の様子に気を配り、思いやりのあるあたたかな声掛けを常に行い、生徒が和やかで楽しい教室環境の中で毎日を過ごすことで、まっすぐに人格を完成していくことができるようになっていきたいと考えております。教職員の生徒への言葉遣いをより丁寧に、諭す指導の徹底を図っていきます。「生涯にわたって幸せな人生を歩むことができる生徒の育成」をめざし、教育活動を充実するとともに、生徒の成長を実感していただける機会をより多く生み出していくと考えております。地域の皆様には、昨年度末から、ご来校いただけない状態が続いている申し訳ございません。本校生徒の成長や活躍を見に来ていただけるようになりますことを願っております。